科目名			担当教員	
社会福祉原論 B			元村　智明	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3086	2	1	RorSR（講義）	2 年以上
履修登録条件	「社会福祉原論 A」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。			
生成 AI 利用レベル	レポート　：　C		試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の学修と、社会福祉観の変遷についての理解を目的とします。“社会福祉”という言葉は広く使われるため、その実態の学問的把握は曖昧になりやすく、ともすると主観的な幸福論や通俗的な人生論に終始しやすいと思われます。しかし、多種多様な社会福祉事象および具体的な社会福祉実践の本質は、まぎれもなく他者の人生へのかかわりであり、理念的には人類史上の文化的創造の営為の一つとも解せます。したがって、「社会福祉原論 B」では抽象度のやや高い社会福祉の原理・思想・哲学、そして社会福祉の諸理論とその展開を確認しながら専門用語・知識の確認に留まらず、常に「社会福祉とは何か」「社会福祉をいかに捉えていくのか」等を思考しながら学修することを望みます。大切なことは、自らの社会福祉観の涵養にあるといえます。

■到達目標

1）社会福祉の全般的な基礎知識（社会福祉士・精神保健福祉士国家試験科目『社会福祉の原理と政策』の合格水準）を解説できる。
2）社会福祉理論の要点を述べることができる。
3）社会福祉の原理に関して理解し、説明することができる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」「倫理的実践力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 60%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 40%

■教科書・参考図書

【教科書】（「社会福祉原論 A」と共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］4 社会福祉の原理と政策　第 2 版』中央法規出版、2025 年

※「社会福祉原論 A」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（最近の教科書変更時期）2026 年 4 月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付資料を中心にして講義を行います。

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

自らの社会福祉観を問い直しながら、社会福祉のあるべき姿について他人事ではなく自分事として考えてみたいと思います。具体的には以下の３点について検討することによります。

１）社会福祉とは何か（基本的性格、存立の根拠、そこに包摂される理念や原理、原則などを含む）

２）社会福祉が理論的かつ思想的にいかに議論され、展開してきたか

３）社会福祉の原理について、考察する

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会福祉学の構造と特徴	社会福祉学を学ぶ基本的視点、歴史性から学ぶ意義と必要性
2	社会福祉の原理	基本的人間理解にもとづく他者支援の観点からの利他的行為
3	社会福祉の思想	人間の尊厳と社会正義、平和主義にもとづく社会福祉の思想
4	社会福祉の哲学	人間の尊厳と社会正義、平和主義にもとづく社会福祉の哲学
5	社会福祉理論の基本的な考え方	戦後社会福祉の理論の成立に係わる基本的考え方と枠組み
6	社会福祉の理論①	社会福祉の必要性を論じた政策論と技術論
7	社会福祉の理論②	社会福祉の必要性を論じた固有論と統合論
8	社会福祉の理論③	社会福祉の必要性を論じた運動論と経営論
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

とくに＜社会福祉＞の成立論拠についての理解を問います（教科書・配付資料、自筆ノートの持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

「社会福祉はなぜ必要なのか」「福祉と社会福祉は異なるのか」について考えながら、受講されてください。

なお、教科書の「第２章　社会福祉の思想・哲学・理論」「第５章　福祉政策におけるニーズと資源」「終章これからの社会福祉」を一読して受講されてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

講義内容をさらに発展させて、日々の時事問題に関心をもち、それが社会福祉の対象範囲となり得るか、否かについて考え続けながら他の科目を受講されてください。また、教科書の該当頁を再読されてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会福祉の論点 (第２章第３節)	社会福祉の論点と基本用語 キーワード：公私関係、普遍主義、選別主義、準市場、格差原理、正義論	社会福祉をめぐる論点を整理し、形式的に把握したうえで、社会福祉の公私関係から多元的供給主体について理解を深め、社会福祉の普遍主義と選別主義についてその意味を考えてみましょう。
2	社会福祉の原理 (序章)	社会福祉の原理とその問い キーワード：パラダイム、援助関係、社会福祉の対象	社会福祉の原理とは何か、原理がいかに問われてきたか、原理が問われることの理由と必要性について考えてみましょう。
3	社会福祉の思想・哲学 (第２章第１節)	社会福祉の思想・哲学への問い キーワード：イデオロギー、自由主義、フェミニズム	人間の尊厳と社会正義、平和主義にもとづく基本的考え方から、社会福祉の思想を創出した自由主義、その克服を図るフェミニズムについておさえてみましょう。
4	社会福祉理論の基本的な考え方 (第２章第２節)	戦後の社会福祉理論と社会福祉の定義 キーワード：パラダイム、目的概念、実体概念、社会事業論	戦後日本における社会福祉の定義、戦後の社会福祉理論の歴史的展開とその特徴について把握しましょう。
5	社会福祉の理論① (第２章第２節)	社会福祉の政策論と技術論 キーワード：社会事業、専門社会事業	戦後社会福祉理論のなかで、社会福祉の必要性を論じた政策論（孝橋正一）と技術論（竹内愛二）について理解しましょう。
6	社会福祉の理論② (第２章第２節)	社会福祉の固有論と統合論 キーワード：固有の視点、人格の確立	戦後社会福祉理論のなかで、社会福祉の必要性を論じた固有論（岡村重夫）と統合論（嶋田啓一郎）について理解しましょう。
7	社会福祉の理論③ (第２章第２節)	社会福祉の運動論と経営論 キーワード：三元構造論、生活権、ニーズ論、サービス供給（体制）論	戦後社会福祉理論のなかで、社会福祉の必要性を論じた運動論（真田是・一番ヶ瀬康子）と経営論（三浦文夫）について理解しましょう。
8	社会福祉の理論④ (第２章第２節)	海外の社会福祉・福祉政策に関する理論 キーワード：福祉の社会的分業論、福祉多元主義、福祉ミックス、NPM（新公共経営論）	海外の社会福祉および福祉政策の理論概要について福祉の分業論（ティトマス）、福祉多元主義（ウルフェンデン報告）、新公共経営論、準市場（ルグラン）等について理解しましょう。
9	社会福祉の対象とニーズ (第２章第４節)	社会福祉の対象把握とニーズ キーワード：近代化、脱工業社会、包摂と排除、ニーズ論	社会福祉の対象としてのニーズ（必要）の特徴、社会福祉の対象の史的変化、対象としてのニーズの捉え方と現代的課題について把握しましょう。
10	現代社会と社会問題の背景 (第３章第２節)	社会問題の構造的背景 キーワード：少子化、高齢化、複合喪失、情報化社会、就職氷河期世代、性別役割分業	社会問題が創出しているその社会構造と社会背景をふまえて、社会問題を理解するための多面的視点と社会問題の複合要因への理解、そこに社会福祉が係わる価値について理解しましょう。

11	福祉政策におけるニーズ (第５章第１節)	福祉政策におけるニーズとは何か キーワード：ニーズの５段階、有効需要、フェルトニーズ、主権、ベーシックインカム	社会福祉におけるニーズ概念を理解するために、福祉政策におけるニーズ（必要）とデマンド（需要）の差異について考えながら、そのうえで福祉政策におけるニーズの把握・種類について理解しましょう。
12	福祉政策における資源 (第５章第２節)	福祉政策における資源とは何か キーワード：絶対的貧困、５人の巨人、社会関係資本	福祉政策におけるニーズ（必要）を充足するための資源（リソース）の考え方、その資源の性質や資源の種類、その開発や配分について理解しましょう。
13	欧米の社会福祉の理論① (第10章第１節)	国際比較の視点と方法 キーワード：福祉レジーム論、脱商品化、21 世紀型福祉政策	福祉政策の 3 類型としての福祉レジーム論（自由主義レジーム・保守主義レジーム・社会民主主義レジーム）を理解し、＜20 世紀型福祉政策＞と＜21 世紀型福祉政策＞の特徴を把握しましょう。
14	欧米の社会福祉の理論② (第10章第４節)	福祉政策の潮流と課題 キーワード：所得保障、サービス保障	福祉政策の国際比較をするうえで新たな展開として＜所得保障＞から＜サービス保障＞へ重視される背景を理解し、＜サービス保障＞の国際比較の課題について考えてみましょう。
15	21 世紀社会と社会福祉 (終章)	21 世紀社会の社会福祉の必要性と方向性 キーワード：福祉の複合体、宗教的慈善、ボランティア、セツルメント、ソーシャルワーク機能	社会福祉の原型、社会福祉の歴史的展開、社会福祉の到達点、社会福祉の方向性について理論・歴史・政策の観点から再確認し、社会福祉の必要性について再確認・再学修しながら、把握してみましょう。

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	現代社会における社会福祉の原理・理論・論点を踏まえて、自らの社会福祉観（対象観と対象者観）をまとめてみてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

※２単位めは、1,800 字以上でまとめるようにしてください。

■アドバイス

「社会福祉原論」は、長年にわたり社会福祉学の教育研究における必要不可欠な基礎科目です。しかし、「社会福祉士および介護福祉士法」の施行に伴い、大学教育の観点からの「社会福祉原論」の講義は困難になっていると思われます。むしろ社会福祉士等の資格取得を目指し、国家試験受験科目の一つとして履修されている方も多いと推察しております。

担当教員としては、「社会福祉原論 B」が、学問としての大学教育として、また国家試験受験科目〈社会福祉の原理と政策＝本学対応科目：社会福祉原論 A・B〉としても、双方に配慮したレポート学習およびスクーリングの授業内容としたいと考えております（そのため「社会福祉原論 B」を履修する方は、できましたらスクーリングも、是非受講していただききたいと存じます）。以上の点を勘案し、以下のレポート課題を設定しました。

１単位めは、社会福祉の原理についての課題です。社会福祉にかかわる原理の《全般的な把握と肝要な細部》を目的としております。2 単位めは、社会福祉理論および論点の全体像の整理を目的としております。2 単位めのレポート学習を通して、学修者に社会福祉に対する一定の心象（イメージ）が形成されればと思います。教科書を十分活用してまとめてください。レポート作成においては、教科書のみで対応できます。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

教科書「第２章　社会福祉の思想・哲学・理論」「終章　これからの社会福祉」を参考に要約してください。社会福祉の概念を原理・理論との関連からの理解と、社会福祉の固有性の理解を目的とします。

科目修了試験

■評価基準

教科書の内容理解に努めること。